

地域のみな様と、私たちをむすぶ広報誌



京都中部総合医療センター

Kyoto Chubu Medical Center



令和5年6月15日に令和5年度自治体立優良病院会長表彰を受賞しました。この表彰は地域医療の確保に重要な役割を果たしており、かつ、経営の健全性が確保されている病院が表彰されます。

当院は24時間365日の救急医療体制や、循環器診療やロボット支援手術などの高度専門医療、地域の医療機関との連携、また経営の健全性を評価いただき、35年ぶりの受賞となりました。

CONTENTS

- 院長挨拶 ①
- 令和4年度 患者満足度調査 ②

- 診療科紹介 耳鼻咽喉科 ③
- 研修医紹介 ⑤
- 働き始めて 新人職員のメッセージ ⑦
- 院内感染対策の取り組み ⑧

- 京都中部総合医療センター 看護専門学校 ⑨
- 看護部の地域での活動 ⑩
- 骨密度測定装置が新しくなりました! ⑩

地域医療支援病院 臨床研修病院
 救急告示病院 日本医療機能評価機構認定病院
 地域がん診療病院 第二種感染症指定医療機関
 地域周産期母子医療センター ヘき地医療拠点病院
 京都府地域リハビリテーション支援センター
 京都府災害拠点病院 (地域災害医療センター)
 DMAT 指定医療機関 認知症疾患医療センター
 エイズ拠点病院 京都府難病医療協力病院

京都中部総合医療センター

〒629-0197 京都府南丹市八木町八木上野25番地
 TEL 0771-42-2510(代) FAX 0771-42-2096

<https://www.kyoto-chubumedc.or.jp>





2023.7
Vol.58
夏号

病院の理念

地域の拠点病院として、患者さん中心の良質な医療を行い、地域に愛され信頼される病院を目指す。

病院の基本方針

- 常に患者さんの立場にたち、権利を尊重して適切な医療を行います。
- 地域医療支援病院として、地域の医療・介護・福祉等と連携しながら、専門診療を推進して地域完結型医療の中心的役割を担います。
- 第二種感染症指定医療機関として、二類感染症もしくはは新型インフルエンザ等感染症に対応した医療を提供します。
- 救急医療、周産期・小児医療、災害医療を充実させ、いつでも安心して受けられる医療を提供します。
- 地域がん診療病院として、集学的医療を推進し、高度ながん医療を行います。
- 働き方改革を推進するとともに、チーム医療を強化し、医療の質・安全性を高めるため、すべての職員の資質向上に努めます。
- 公営企業としての役割を全うするため、経営効率を高め、健全経営を遂行します。

患者さんの権利と責務

私たちは患者さんの権利を尊重し、十分な説明と合意に基づいた医療を行います。

- 説明を受ける権利
- 治療を選択する権利
- 情報を知る権利
- 個人情報の保護を受ける権利
- 自分の健康情報を正確に提供する責務
- 説明を理解するまで問う責務
- 病院での規則に従う責務



院長挨拶

令和5年度 自治体立優良病院 会長表彰を受賞して

院長 たつみ てつや 辰巳 哲也



今年も病院の周りでは田植えが始まりました。通勤時に車窓から見える早苗田に映る緑の山並みや黄昏時の夕焼けは、毎年心をなごませてくれるお気に入りの田園風景です。今年は6月に職員の方とともに南丹市園部町竹井に蛍を見に出かけました。竹井は「蛍の名所」と呼ばれる美しい里です。都会の喧騒を忘れさせる世界の中、息を凝らして園部川に近づいて行くと、川辺の木々の中から数えきれない程の蛍の光が川面に向かって溢れ出てきます。清らかな水流の上を蛍の群れが多数飛び交う幻想的な光景に、思わず時の経つのを忘れて見とれてしまいました。夜空を見上げると京都市内ではとても見えないことのないような満点の星空が輝いていました。梅雨の合間の短い時間でしたが、心を浄化させてくれたひと時でした。

京都中部総合医療センターは令和5年6月15日に両会長(※注)から「自治体立優良病院 会長表彰」を35年ぶりに受賞することができました。平成26年に院長を拝命した年、ある学会で京セラ創業者の故稲森和夫氏のご講演をお聴きする機会があり、下記の言葉が今も忘れられずに心に残っております。

「医は仁術であり、算術ではない。しかし医療に経営の考え方を取り入れることは間違いではない。なぜなら、もし病院経営が破綻すれば住民の命を守る地域医療が存続できなくなるからである。」

その後、私は当院で初めて経営コンサルタントを導入して経営に客観性をもたせながら、自院のDPCデータを分析して医療情報を可視化・共有化し、多くの職員が同じ方向性を持ち、前へ進むことを指示してきました。このたび、この荣誉ある賞を頂きましたことに際しまして、これまで私を長年にわたりご指導賜りました関係各位の皆さま方に深甚なる感謝の意を申し上げますとともに、当院の全職員の皆さまが病院運営に献身的なご貢献をいただいたことを心から感謝したいと存じます。私の目指す大きな目標の一つを達成できたことに少し安堵するとともに、今後も職員一同全力で優良病院表彰に恥じない経営努力と良質な医療の提供を行っていきたく存じます。

京都中部総合医療センターは、令和8年の新病棟開院に向けて準備を進めており、令和5年度は新棟整備詳細設計を策定する予定です。まさに期待と課題に満ちたプロジェクトであり、救命救急機能を強化するとともに、ロボット支援手術などの高度専門医療をさらなる高みへ進化させ、新興感染症を含めた災害など非常時にも対応できる新病棟建設を是非とも成功に導きたいと考えております。建築物価の高騰や資材不足、内部的には医師・看護師などの人材確保など乗り越えなければならない課題が山積していますが、皆さまの



表彰式にて
小熊豊全国自治体病院協議会会長と

※注：全国自治体病院開設者協議会会長、公益社団法人全国自治体病院協議会会長

ご支援、ご協力を賜りますよう今後ともどうか宜しくお願い申し上げます。今後も京都中部総合医療センターはこの美しい山里が残る医療圏にお住いの皆さまの生命健康をお守りする拠点病院としての使命を全力で果たして行きたいと存じます。今後とも皆さまのご協力とご支援を賜りますようどうか宜しく願いいたします。皆様の夏が今年も楽しい思い出となりますようお祈りしております。

令和4年度 患者満足度調査

副看護部長・業務改善委員会 ますたに てる よ 増谷 照代

当院では、患者さんへのサービス向上を図るため、「患者満足度調査」を実施しています。令和4年度の調査結果をご報告します。

外来部門

外来部門については、2022年7月4日から7月8日までの期間、アンケート調査を実施し、814名の方からご回答いただきました。その内の約95%が南丹市、亀岡市、京丹波町にお住まいの患者さんでした。

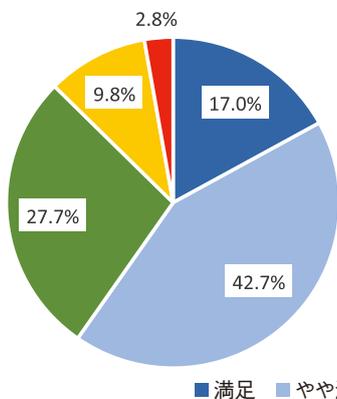
アンケートは、「来院方法について」「施設について」「サービス面について」「接遇面について」の調査項目となっています。「来院方法」では自家用車が前年度より2%上昇し80%でした。施設の中の「駐車場の使いやすさ」は悪い・やや悪いが22%でした。「診察での待ち時間」は悪い・やや悪いが59%でした。「時間帯によっては駐車場が空いていなくて困る」「駐車場への入る道が狭すぎる」「あとどれくらい待つのか表示してほしい」「トイレがもっときれいになると嬉しい」といったご意見は、前回のアンケート調査と変わらず多く頂戴しご不便をおかけしております。新棟建設時には今回のアンケート調査のご意見を反映させて行きたいと思っております。いましばらく現在の状況が続きますがご理解ご協力いただければ幸いです。

入院部門

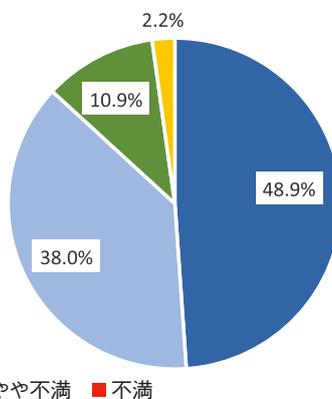
入院部門については、2022年7月4日から7月15日までの期間、アンケート調査を実施し、144名の方からご回答いただきました。外来同様その内の約95%が南丹市、亀岡市、京丹波町にお住まいの患者さんとなっています。

「来院方法について」は外来と同様、前年度より3%上昇し76%の患者さんが自家用車を利用されておりました。駐車場スペースの確保に関しまして院内でも改善を続けて参ります。施設面については、テレビのBSやWi-Fiを希望される意見が前回アンケートと同様多くあります。このような要望もこれからの新棟建設に反映されればと思います。コロナ禍における面会制限に関しましては患者さん、ご家族の方々にとってご不便をおかけする日が続き、多くのご意見をいただきました。当院でもオンライン面会を活用して、感染状況に応じてできる限り面会対応をさせていただきました。ご協力いただきまして大変ありがとうございました。入院されます患者さんが安心・安楽に過ごしていただけますよう入院環境を整えるため努力して参ります。

外来総合満足度



入院総合満足度



今回の調査を通じて、患者さん、ご家族の皆さまからいただきましたご意見を職員にて共有し、地域の皆さまが安心して来院して利用いただけるよう努力して参ります。励ましや感謝の言葉は、職員にとって大きな励みとなります。今後も一層の患者サービス向上に取り組んで参ります。

調査にご協力いただきました皆さま、本当にありがとうございました。

耳鼻咽喉科

Otorhinolaryngology

かやの かおり
耳鼻咽喉科部長 栢野 香里

2023年5月現在、2名の常勤医（栢野香里、山本典子）と3名の外来担当医（京都府立医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室などからの派遣）で診療を行っています。1日平均の外来患者数は30～60名、入院患者は通常6～10名前後です。

最近4年間の主な手術数は以下の表になります。



| | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 |
|--------------------------|---------|--------|--------|--------|
| 耳科手術 | 計 43 件 | 計 32 件 | 計 32 件 | 計 30 件 |
| 鼓室形成術 | 7 | 6 | 10 | 5 |
| 鼓膜チューブ挿入術 | 17 | 6 | 15 | 12 |
| 顔面神経減荷術 | 4 | 1 | 1 | 0 |
| 先天性耳瘻管摘出術 | 1 | 5 | 1 | 0 |
| 鼓膜／外耳道／耳介形成術 | 2 | 0 | 1 | 2 |
| 乳突削開／充填術 | 6 | 6 | 2 | 4 |
| 外耳道腫瘍／副耳／側頭骨切除術 | 1 | 2 | 0 | 3 |
| 鼓膜穿孔閉鎖術 | 5 | 6 | 2 | 3 |
| 内耳窓閉鎖術 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 鼻科手術 | 計 63 件 | 計 32 件 | 計 34 件 | 計 72 件 |
| 内視鏡下鼻・副鼻腔手術 | 34 | 21 | 17 | 36 |
| 鼻中隔矯正術 | 16 | 5 | 1 | 13 |
| 鼻甲介切除／レーザー蒸散術 | 6 | 6 | 8 | 15 |
| 鼻骨骨折整復術 | 6 | 0 | 6 | 6 |
| 術後性上顎嚢胞摘出術 | 0 | 0 | 2 | 1 |
| 鼻前庭嚢胞摘出術 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 鼻外前額洞手術 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 口腔咽喉頭手術 | 計 116 件 | 計 80 件 | 計 62 件 | 計 85 件 |
| 扁桃摘出術 | 48 | 26 | 20 | 31 |
| アデノイド切除術 | 10 | 3 | 2 | 7 |
| 扁桃周囲膿瘍切開術 | 19 | 12 | 18 | 16 |
| 舌小帯延長／下口唇嚢胞摘出術 | 1 | 0 | 0 | 2 |
| 舌、口腔、咽頭腫瘍摘出術 | 計 30 件 | 計 29 件 | 計 15 件 | 計 25 件 |
| 舌・口腔良性腫瘍摘出術 | 8 | 3 | 2 | 1 |
| 舌・口腔悪性腫瘍摘出術 | 9 | 9 | 4 | 9 |
| 咽頭良性腫瘍摘出術 | 3 | 1 | 2 | 1 |
| 咽頭悪性腫瘍摘出術 | 3 | 5 | 6 | 9 |
| 舌下腺摘出術 | 0 | 2 | 0 | 1 |
| 咽後／口腔底膿瘍切開術 | 3 | 3 | 0 | 1 |
| 唾石摘出術（含深在性） | 4 | 6 | 1 | 3 |
| 喉頭微細手術 | 計 6 件 | 計 5 件 | 計 6 件 | 計 4 件 |
| 嚥下機能改善手術、誤嚥防止手術、音声機能改善手術 | 計 2 件 | 計 5 件 | 計 1 件 | 計 0 件 |

| | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 |
|--------------------|--------|--------|--------|--------|
| 頭頸部手術 | 計 98 件 | 計 81 件 | 計 58 件 | 計 66 件 |
| 頸部郭清術 | 計 29 件 | 計 31 件 | 計 2 件 | 計 21 件 |
| 頭頸部腫瘍摘出術 | 計 69 件 | 計 50 件 | 計 56 件 | 計 45 件 |
| 耳下腺良性腫瘍摘出術 | 4 | 6 | 6 | 5 |
| 耳下腺悪性腫瘍摘出術 | 0 | 0 | 2 | 1 |
| 甲状腺良性腫瘍摘出術 | 4 | 3 | 10 | 7 |
| 甲状腺悪性腫瘍摘出術 | 14 | 14 | 8 | 4 |
| 副甲状腺摘出術 | 1 | 0 | 2 | 0 |
| 鼻・副鼻腔良性腫瘍摘出術 | 4 | 0 | 1 | 2 |
| 鼻・副鼻腔悪性腫瘍摘出術 | 2 | 0 | 0 | 1 |
| 喉頭悪性腫瘍摘出術 | 3 | 3 | 7 | 3 |
| リンパ節生検 | 13 | 10 | 8 | 13 |
| 頸部嚢胞摘出術 | 3 | 3 | 1 | 0 |
| 甲状舌管嚢胞摘出術 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 顎下腺摘出術 | 3 | 2 | 1 | 3 |
| 頸部良性腫瘍摘出術 | 7 | 8 | 6 | 2 |
| 頸部悪性腫瘍摘出術 | 1 | 0 | 1 | 0 |
| 筋皮弁・皮弁作成術 | 6 | 1 | 0 | 2 |
| 頸部膿瘍切開排膿術 | 0 | 0 | 2 | 2 |
| 自家遊離複合組織移植術 | 3 | 0 | 0 | 0 |
| 分層植皮術 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 異物摘出術（外耳・鼻腔・咽頭・食道） | 17 | 18 | 5 | 9 |
| 気管切開術 | 計 20 件 | 計 11 件 | 計 14 件 | 計 12 件 |
| その他 | | | | |
| 気管孔狭窄拡大術 | 1 | 0 | 3 | 1 |
| 気管孔閉鎖術 | 13 | 5 | 6 | 5 |

注）両側の場合は2例としてカウントしている。腫瘍摘出と頸部郭清を行った場合にはそれぞれ別々にカウントしている（例：喉頭全摘 + 両頸部郭清→喉頭全摘1例、頸部郭清2例）。

手術だけでなく、突発性難聴や顔面神経麻痺のステロイドパルス療法、めまい・耳鳴りの薬物治療、老人性難聴の補聴器適合・相談、乳幼児難聴の診断と高次医療・療育機関への紹介、花粉症・アレルギー性鼻炎の薬物治療や舌下免疫療法、いびき・睡眠時無呼吸症のCPAP（持続式陽圧呼吸）療法、嚥下障害患者さんの診断やリハビリ指導、頭頸部癌の放射線治療、薬物療法（抗がん剤治療や免疫療法）、緩和医療も行っています。地域の中核病院として、できるだけ幅広い疾患に対応できるように心がけています。

当科で扱う疾患は呼吸・摂食（咀嚼・嚥下）、発声、味覚、嗅覚、聴覚などの重要な臓器が集中している部分であるため、生活の質（QOL）への影響が大きいことが特徴です。そのため、生命予後だけでなく、QOLを重視した治療内容が望まれます。同じ疾患でも一人ひとりの患者さんの状態や社会的背景により必要な治療内容は変わってきます。また、重症患者さんの治療には看護師、薬剤師、管理栄養士、言語聴覚士、ソーシャルワーカーなどとの協力が不可欠です。このため、毎週水曜日に病棟スタッフと入院中の癌患者さんを対象としたカンファレンスを行っています。さらに大学で行われているcancer boardにも参加し、頭頸部チームスタッフと意見を交換しながら、治療方針を決定しています。

当院での治療を希望される方に、レベルの高い治療を提供することが我々の役割であり、そのために医師としての研鑽を積んでいます。このような考えから特殊な疾患や他院への紹介を患者さんご本人が希望される場合を除き、どのような疾患の治療も行うように心がけていきたいと思っております。

耳・鼻・口腔・咽喉頭、唾液腺・甲状腺を含む頸部疾患など、頭の中と眼をのぞいた頭部と頸部の疾患全部が当科の守備範囲です。難聴、めまい、耳鳴り、耳だれ、鼻水、鼻づまり、口内炎、声がれ、のどの痛み、違和感、飲み込みにくさ、頸のしこり、腫れなどの症状のご相談は是非、当科を受診してください。

研修医紹介

当院は臨床研修病院として将来の医療を担う、優れた医師の養成を目指し、研修医（一般に医師免許取得後1、2年目の医師）の教育に取り組んでいます。研修医教育は地域医療を担う当院として重要な役割の一つですので今後も継続発展していきたいと考えています。地域の皆様にもぜひともご理解のほど、よろしく願いいたします。研修医の名札には「研修医」と記されています。また機会がございましたらぜひ、お声かけいただければありがたいです。

2年目研修医



いのうえ まゆ
井上 茉優

医師として2年目の生活が始まり、日々研鑽を積む毎日を送っています。1年目4月と比べ、習得した診察方法や手技は増えましたが、まだまだ未熟であり、周囲の方々にご迷惑をお掛けしています。また現在、志望科であるマイナー外科をローテしており、指導医上級医の熱い指導や周囲の方々に恵まれ、充実した研修を行っています。外来で予診をとっていると、当院が近隣病院の砦になっていることを実感しております。生まれ育った地域を今後も支える医師となれるように日々精進して参ります。上級医や看護師、その他医療スタッフの手厚い支えのお陰で1年間の研修を終えることができました。ありがとうございます。残り1年心残りのないように全力で努力いたしますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

よしだ むねひろ
吉田 宗弘

入職してから1年がたちました。社会人として右も左もわからない状態で入職し、職員の方々にはご迷惑をおかけすることも多かったと思いますが、先輩の医療スタッフの皆様にご指導ご鞭撻いただき、充実した1年間を過ごすことができました。ありがとうございます。

まだまだ至らないところばかりですが、2年目を迎えた今年度は昨年教えていただいたことを糧に、少しでも成長した姿をお見せできるように、また地域の皆様のお力になれるように精進いたす所存です。今年度もよろしく願いいたします。

はしや ふみや
橋谷 文弥

ツツジの花も散り始め、日差しには夏の気配を感じる季節となりました。入職して1年が経ち業務に少しずつ慣れを感じる一方で、まだまだ自らの未熟さを痛感する日々です。昨年末には亀岡ハーフマラソン大会にメディカルランナーとして参加させていただきました。市民の皆様の応援もあり無事完走することができ、地域医療への思いを新たにしました。

冒頭のツツジは躑躅とも書き、ためらいながら進む様子を意味するようです。医療の末席を汚すものとして常に生命への畏れを抱きつつ精進して参りたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻の程何卒よろしくお願い申し上げます。

おおたに ゆうき
大谷 勇樹

梅雨明けが待たれる今日この頃ですが、木々の緑もますますその青さを増しております。

4月から医師2年目としてのスタートを切りましたが、まだまだできないこと・分からないことだらけであり、反省・復習の毎日を送っております。少しでもこの病院の力になれるよう精進して参りますので、ご指導ご鞭撻の程どうぞよろしくお願いいたします。

よしむら ゆうき
吉村 悠希

期待と不安を抱えながら働き始めて、あっという間に1年が経ちました。初めは分からないことだらけで、不甲斐ない自分に落ち込む毎日でしたが、先生方はじめ皆様に助けられながら、救急診療や病棟管理など少しずつできることが増えてきたように思います。

この一年の間に、ご臨終や出産の場面に立ちあわせていただき、命に関わる仕事として重大な責任を感じております。今でもまだまだ未熟で、至らぬことばかりですが、専門的な知識を深めつつ患者さんに寄り添った医師になれるよう精一杯精進して参ります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

1 年目研修医



かけたか しょうご
懸高 祥梧

知識、技術ともにまだまだ未熟で至らない点が多く、周りの先生方やコメディカルの方々に助けていただく日々です。できるだけ早く社会人として医師として一人前になれるよう、精進して参りたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

しみず みさき
清水 美咲

京都出身で大学時代を宮崎で過ごし、この度京都に戻って参りました。慣れないことやわからないことも多くご迷惑をおかけしていますが、指導医や上級医の先生方、コメディカルの方々に優しく接していただき、充実した日々を送っています。志望科はまだ決まっておらず、内科全般で迷っています。少しでも早く一人前になりこの地域の医療に貢献できるよう、これからも精進して参ります。どうぞよろしくお願ひいたします。

ふじた かつゆき
藤田 克行

神奈川の大学から京都へ戻って参りました。4月より働きはじめ、先生方やコメディカルの方々にご迷惑をおかけすることも多々ありますが、日々温かくご指導いただき、感謝しております。また、同期や2年目の先生方にも恵まれ、支えられていることを実感しています。たすきがけのため、1年間という短い期間ですが、できるだけ多くの事を経験し、少しずつでもできることを増やしていけるよう精進して参ります。

たなか たくみ
田中 拓海

富山大学医学部を卒業し、この度北陸の地から京都に舞い戻り4月から当院にて研修医として勤務させていただくことになりました。先輩、同期、スタッフが皆さん優しい方々ばかりなので充実した研修医生活を送っています。新鮮な気持ちで医師としての一步を踏み出すにあたり、当院は間違いなく最高の環境だと日々感じております。まだまだ未熟者ですが南丹医療圏の皆様健康に少しでも貢献できるように日々精進して参ります。

てらくち ゆうき
寺口 勇樹

病院見学や説明会の際に、病院の雰囲気惹かれ、是非この環境で働きたいと思い、この4月より入職させていただきました。知識も経験もなくゼロからのスタートですが、優しく丁寧に指導してくださる上級医の先生や他職種の方がいらっしやるこの環境で意欲的に自己研鑽に励み、医師としての自覚や役割を学びたく考えております。そして、この病院の延びてはこの地域に少しでもお役に立てるよう頑張っていきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

つじ ゆうき
辻 勇旭

大学時代の先輩がこの病院で働かれていたのをきっかけに、さらに見学や実習を通してこの病院を志望し、この春からこちらに参りました。指導医の先生方だけでなくコメディカルの方々にも指導していただき、また先輩方や同期にも助けをもらいながら、できることを少しずつ増やして、患者さんに安心感を与えられる医師になりたいと思っております。2年間どうぞよろしくお願ひいたします。私事ではありますが、トリアスロンに興味があって、参加されたことがある方に色々教えていただけたら嬉しいなと密かに思っています。

働き始めて 新人職員のメッセージ

看護師

いしやま たくま
石山 卓馬



4月は診療記録の扱い方や採血、倫理など座学で同期と共に仲を深めながら学びました。そして病棟で働き始めると自分がまだまだ未熟であることを業務を行いながら実感しました。心電図の見方や疾患や医療機器、薬剤の知識など学ぶことはたくさんありますが日々勉強しながら看護が行えるよう頑張ります。

助産師

かわい
川合 あゆみ



念願だった助産師となり、これまで学んだことを十分に発揮して看護していくのだと強く意気込み入職しました。しかし働き始めて、先輩方のように看護師兼助産師として自分は務まるのか不安でした。けれども、先輩方は一つひとつ丁寧に優しくご指導してくださり、少しずつ出来ることが増えて、徐々に不安は消えました。同期と切磋琢磨しながら、患者さんに寄り添って看護することを大切にして、日々自己研鑽して成長していきたいです。

薬剤師

かわしま あきのり
川嶋 慧紀



地域の中核である当院で薬剤師としてのキャリアを歩み始めたことを大変うれしく思います。薬剤師の業務で大切なことは、薬を調剤するだけでなく、その薬を正しく使用していただけるよう患者さんに寄り添いながら、正確にお伝えすることであると考えております。そのため医薬品の知識を深め、患者さんのライフスタイルにも寄り添えるよう努めております。まだまだ未熟ですが患者さんに頼りにしていただける薬剤師になれるよう精進して参ります。

診療情報管理士

ひらつか りお
平塚 理央



4月から新社会人となり、働き始めたばかりの頃は右も左も分からないという状態で大きな不安を抱えていました。しかし、そのような中でも先輩方にご指導いただいた知識と経験を吸収していくことで、少しずつながらも成長していることに喜びを感じるようになりました。今はまだ至らない身ではありますが、ゆくゆくは信頼され仕事を任される診療情報管理士となれるよう日々精進していきます。

社会福祉士

たけうち あんな
竹内 杏菜



以前から福祉の仕事に興味があり、社会福祉士の資格を活かしたいと思い転職しました。病院という初めての環境で、不安と焦りの中毎日を過ごしておりますが、先輩方に丁寧に業務を教えていただき、少しずつ環境にも慣れてきて、退院支援という病院として大切な役割も理解してきました。少しでも早く業務を覚えて、患者さんやご家族に最善の道を選んでいただけるような支援を行っていきたいと思います。

院内感染対策の取り組み

感染対策に関する法令はたくさんあります。院内感染対策は、医療法に基づき制定され、医療法施行規則にて規定されています。

当院での院内感染管理組織は、感染管理指針のもとに組織化され、院内感染対策の実働部隊とし感染対策チーム（Infection Control Team：ICT）が活動しています。メンバーは医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師・作業療法士・事務職員で構成されています。

感染管理認定看護師 しばた なみ
柴田 奈美



ICT ラウンド

医師、看護師、臨床検査技師、薬剤師で院内を巡回しています。病院内の療養環境が整えられているか、手指衛生ができていないか、医療廃棄物の分別が正しくできているか等の確認を行っています。ラウンドにて院内の感染対策の状況を評価し、感染対策の向上を行っています。

新型コロナウイルス感染症対策

重点医療機関として新型コロナウイルス感染症患者を受け入れており、感染対策の手順書の作成や指導を行っています。院内で陽性者発生時には積極的疫学調査を行い、感染拡大防止に努めています。

京都府新型コロナウイルス感染専門サポートチームとして、高齢者施設・障害者施設へ訪問し感染対策の支援を行っています。訪問先では、施設内の現状に応じた感染対策を、スタッフと共に考え実践していきます。

新型コロナウイルス感染症対応看護師養成事業軽症～中等症患者対応研修の医療機関として他施設の看護師の研修を行い、それぞれの施設での感染対策の現状の評価を行い実践出来るよう連携しています。

抗菌薬適正使用の推進

抗菌薬は、効果のある薬剤を適切なタイミングで、必要な量を投与することが大切です。不必要な投与により、薬剤に耐性をもつ菌を産生する場合があります。これらを予防するために、抗菌薬の使用状況の確認、微生物の検出状況の確認を行っています。主治医と相談しながら抗菌薬の種類・投与方法・期間の調整を行っています。

地域との連携

南丹保健所、感染対策向上加算連携医療機関と、年4回合同カンファレンス（会議）・年1回新興感染症対応訓練を行っています。カンファレンスでは、南丹医療圏における感染症発生動向や地域での感染対策について意見交換をしています。昨年度の訓練は、個人防護用具着脱をオンラインにて行いました。

感染対策向上加算1医療機関へ年1回、相互に赴き院内ラウンドを行い、感染対策の評価を行っています。また地域の医療機関に赴き、感染対策の状況を評価し、感染対策の向上を行っています。

研修会の実施

全職員に対し感染予防策・抗菌薬適正使用の研修を年2回行っています。コロナ禍においては、オンライン研修を行っています。

感染管理認定看護師より

感染管理認定看護師は、患者・家族・職員・地域の人々を感染から守ることを目標としています。全ての感染症から自分自身や相手を守ることは不可能だと思います。しかし、少しでも感染の機会を減らすことはできると思っています。感染対策の基本は手指衛生です。感染対策の環境が整っていたとしても、人の手が汚染されていることで感染は拡大していきます。手を洗うこと、手を消毒することは最も簡易ですが、継続することが難しいことを実感しています。皆さんが新型コロナウイルス感染症で学んだ、「手指衛生」「換気」「3つの密の回避」で自身を守るため、周りの大切な人を守るために、今後も継続した感染対策行動をよろしく願いいたします。

初めての実習に向けて

1年生 かわごえ れいか
川越 梨加

入学してから解剖生理学や看護の学習が始まりました。看護技術の講義も始まり5月にはシーツ交換の技術試験がありました。

初めての实習では患者さんに快適なベッドと安全な環境を援助できるだけでなく、普段の講義だけでは感じることはできない医療の現場の雰囲気、緊張感を肌で感じ、これからの自分の看護師としてのあり方の参考になるような機会にしたいと思っています。

初めての経験で緊張と不安でいっぱいですが、失敗を恐れず多くの事にチャレンジし実習で得た学びを吸収して自分のものにする、そんな臨地実習にしたいです。



地域交流会の学び

2年生 まつもと ななみ
松本 七海

私たちは足浴・手浴・バイタルサイン測定・血管測定・レクリエーションを地域の方々に喜んで楽しんでいただけるよう練習し準備してきました。説明や声掛けが、自分で考えていたようにうまくできないこともありましたが、参加された方から「子供に戻ったみたいで楽しかったわ」とお言葉をいただいたことがとても嬉しかったです。地域の方々と交流し、気持ちよかったと言っただけ共に楽しむことができ、頑張っ準備をしてよかったと感じました。

私たち看護学生は、学校の先生や京都中部総合医療センターの方達だけでなく、地域の方々にも支えられていることを改めて実感することができました。今日の学びをこれからの学業、実習で活かして地域の方々に愛される看護師になりたいと思います。



実習に向けて

3年生 たけだ てっぺい
武田 鉄平

5月から専門領域別の実習が始まりました。この実習は約8か月と長期の実習になります。様々な専門領域の患者さんと係わり、知識・技術を学ぶ貴重な体験になります。私は今回の実習を通して、患者さんやご家族とのコミュニケーションや関わりについても学び、患者さんとそのご家族のそばで寄り添える看護師になりたいと思います。

来年には、国家試験に合格し京都中部総合医療センターで働くことができるように実習、勉学に頑張っていきます。



看護部の地域での活動

看護師長 まつおか みよこ
松岡 美代子

令和5年5月3日に開催された亀岡光秀まつりにて、亀岡駅前の南郷公園に、血圧測定や健康相談のブースを出展しました。炎天下の中でしたが、約130名の方々にブースに来ていただき、血圧測定や健康についてお話をさせていただきました。地域医療支援病院として、市民の方々に健康について意識していただくため、今後も取組んでいきます。



骨密度測定装置が新しくなりました！

放射線科・診療放射線技師 ふくもと さやか
福本 沙也香

骨密度測定装置が更新され2023年5月1日より稼働しています。

この装置は原発性骨粗鬆症診断基準に対応しており、より精度の高い測定ができるようになりました。さらに、サルコペニア診断に必要なSMI値（骨格筋量指数）や、TBS（海綿骨構造指標）と言う骨の内部構造をみる指標の測定もできるようになりました。



骨密度とは？

骨の強度を表す代表的な指標です。

若い人の平均値と比較して自分の骨密度が何%であるかを表します。この値は、20歳頃をピークとして減少していきます。特に女性は閉経を境に大きく減少していきます。

骨粗鬆症とは？

骨折や痛みなどの自覚症状が無くても、骨の強度が低下し骨折のリスクが高くなる疾患です。

1度骨折してしまうと再度骨折のリスクがとても高く、骨折の連鎖を引き起こしやすくなります。特に、大腿骨近位部骨折ではその後寝たきりになる人が多く、発症してから1年後の死亡率も上がります。今後の生活の質を大きく左右する疾患であるにも関わらず、治療を受けている人がとても少ないのが現状です。

骨折を未然に防ぐために食事療法や運動療法を組み合わせ、早期に治療を開始する必要があります。その為にも定期的に骨密度測定を受け、骨の健康状態を把握しておくことがとても大切です。

Information

* 詳細については決定次第、病院ホームページ等にてお知らせいたします。

2023年糖尿病教室予定

- 7月11日(火)
講師：医師(内分泌・糖尿病・代謝内科)・
管理栄養士
- 9月19日(火)
講師：理学療法士・看護師・管理栄養士
- 10月17日(火)
講師：薬剤師・管理栄養士
- 12月19日(火)
講師：医師(腎臓内科)・管理栄養士

- * 15時から開始となります。
- * 完全予約制、有料です。(自己負担3割 240円)
- * ご希望のかたは、診察時に各外来担当医もしくは栄養科
(TEL 0771-42-2510(代))までお問い合わせください。
- * 内容・日程は変更となることがあります。

京都中部総合医療センター学術集会

- 日程 2023年9月23日(土)
- 時間 14時～
- 場所 京都中部総合医療センター
第二病棟5階講堂



看護職員募集

一緒に働く仲間、大募集
新しいこと、極めること、
仲間とともに。

看護師寮利用できます。(正職員)
月額4,000円(税込)



〒629-0197
京都府南丹市八木町八木上野25番地
京都中部総合医療センター総務課人事係
TEL 0771-42-2510(代)まで

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.kyoto-chubumedc.or.jp/nurse/>



編集後記

令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症は5類となりました。振り返れば様々なことがありましたが、5類になったとはいえウイルスがいなくなったわけではありません。

そのことを念頭に置きながらも、楽しい話題も掲載していけるような日々をわくわくして過ごしています。皆さんもすてきな夏をお過ごしください。

広報委員会 M.M.

病院スタッフはマスクとゴーグルを着用して業務を行っておりますが、撮影のために一時的に外している場合があります。ご了承下さい。

